

サクラ咲く日まで

通 知 文

札幌市教育委員会より「高等学校入学者選抜等における受検生の受検機会の確保と安全確保の徹底について」という通知文が届きました。

要約すると受検生の安全確保のため、入試当日、各公立高校は下記の対応をとるそうです。受検生の皆さんも保護者の皆様もお知りおきください。

- ① 不審者の侵入を防ぐため、推薦入試及び一般入試の際には、受検生が入退場する時間帯に校舎出入口に職員が配置されます。また、それ以外の時間帯は、出入口が施錠されます。
- ② 受検生が校舎へ入場する際、職員が受検票を確認します。
- ③ 受検生が試験場に向かう途中の事故に巻き込まれた場合や、痴漢の被害にあった場合には、やむを得ない事情として、追検査の対象とすること、検査時間の繰り下げを行うこと、面接の日時を延期することなど受検機会の確保のための柔軟な対応に務めてくれることとなっております。



こうした高校側の対応にともなって、下記の2点を事前指導させていただきます。

- ① 上記②に記しましたように、校舎へ入場する際、高校の職員が受検票を確認しますので、受検票をカバン内の取り出しやすい所に保管してください。ただし、受検票を落としたりすることのないよう気をつけてください。
- ② 試験場に向かう途中の事故に巻き込まれた場合や、痴漢の被害にあった場合には、自身の身の安全を確保するとともに、周囲の大人に助けを求め、警察に通報するなど、適切に対応しましょう。

●38名が合格切符を手にしております！

1月31日現在、私立高校（推薦・単願・専願受験）で31名、広域通信制高校で7名、合計38名の生徒が合格切符を手にしております。

すでに合格した生徒は気を緩めることなく、苦手教科の復習、検定の取得等、今だからこそできることに努力して欲しいものです。また、これから受験をひかえている仲間たちの気持ちもくんで学校生活を送って欲しいものです。

合格切符を手にした生徒の保護者の方への連絡です。この度は、お子様の合格おめでとうございます。合格通知とともに入学手続きに関する案内が同封されていたと思います。入学手続きに関しましては、保護者の責任のもと期限厳守で確実に手続きを行ってください。

@coffee break 姿見鏡は身長の半分が必要です！

全身をうつし出すことのできる鏡を姿見鏡といいます。姿見鏡は身長（1／2）が必要です。

今、目までの高さが x cmで、目から頭の先までの長さが y cmのヒトがいたとします。光は『光の反射の法則』にしたがって、入射角＝反射角で反射しますので、右図のように反射します。

このヒトの身長は $x + y$ cmです。一方、姿見鏡にうつる像の長さは $1/2 x + 1/2 y$ cm、つまり、 $1/2 (x + y)$ cmとなるのです。

身長160cmのヒトは80cmの姿見鏡が必要となります。覚えておくと、姿見鏡を買う時に役立つかもしれません。なお、右図を見ると理解できると思いますが、ヒトと姿見鏡までの距離はうつる像の長さに影響はしません。ヒトはどこに立ってもよいのです。ただし、ヒトの目の焦点距離は一般的に50mmといわれていますのでそれ以上近づくと見えません。ために、本を目に50mmよりも近づけてみてください。本を読むことはできないと思います。

